

荏原第四地区夏まつり

荏原第四地区夏まつりが7月22日（土）に源氏前小学校で開催されました。非常に暑い日でしたが、地域にお住まいのたくさんの方に楽しんでいただきました。そんな夏まつりの一日の様子をお届けします！

前半の部（10:00～12:00）

模擬店・子どもコーナー

ティーンズ放送局が会場内を盛り上げる中、スーパーボールすくい、宝つり、ストラックアウト、ペットボトルボウリング、コイン落としとひんやりプレイランドが行われ、多くの子どもたちが楽しみました。

模擬店はベビーカステラ、ポップコーン、ジュースが出店され、賑わいが見られました。



後半の部（16:00～19:30）

本部挨拶

夏まつり実行委員長と森澤区長が挨拶を行いました。

オープニングイベント

金管バンド、ソーラン節や一輪車ダンスが披露され、華やかな衣装や息の合ったパフォーマンスでまつりを彩りました。

模擬店・子どもコーナー

子どもコーナーはわくわくプレイランド、わにわにパニックDX！が行われ、子どもたちに人気を博しました。

模擬店はジュースとヨーヨーつりが賑わい、ベビーカステラ、フランクフルト、磯辺焼きや焼きそばのいい匂いが会場内を漂っていました。

盆踊り

曲と太鼓のリズムに乗って、大人も子どもも楽しく踊っていました。

花火

フィナーレには4年ぶりの花火が打ち上げられ、歓声とともにまつりを締めくくりました。



梅雨が明け、33℃を超える暑い日に、盛大に夏まつりが行われました。

前半には、各小学校PTA、児童センターによる子どもコーナー、地区委員と中学生ボランティアによるベビーカステラなどの模擬店が行われ、これを楽しみ子供たちの笑顔があふれる時間でした。

後半は、本部挨拶から始まり、オープニングイベントが行われました。前半より増えた模擬店や盆踊りを目的に来られる多くの人で、会場内が賑わいました。夏まつりの最後を飾る花火を見た観客が、歓声を上げていた姿が印象的で、素晴らしい夏まつりとなりました。

この場をお借りしまして、夏まつりに関わってくださったすべての皆様に、お礼申し上げます。ありがとうございました。

（文責：夏まつり企画リーダー 鈴木 晴恵）



「受験で必要な力」

受験で必要な力とは、最後まで諦めずに「やり抜く力」にかかっています。その「やり抜く力」を自分自身で伸ばすには、目標設定して、それをクリアする学習計画を習慣化していく。また、黙々とコツコツと「継続性」を大切にして努力することが大事です。

「才能」より「コツコツやり続けること」が最後には勝ちます。多くの人は、「才能がないから成功できない」と考える傾向があります。しかし、成功者の多くは長い時間をかけて努力を積み重ね、何度も失敗や困難を乗り越え、粘り強く続けてきた結果なのです。こうした、「やり抜く力」が強い人ほど、成功をつかみやすいだけでなく、人生における幸福感にもつながります。

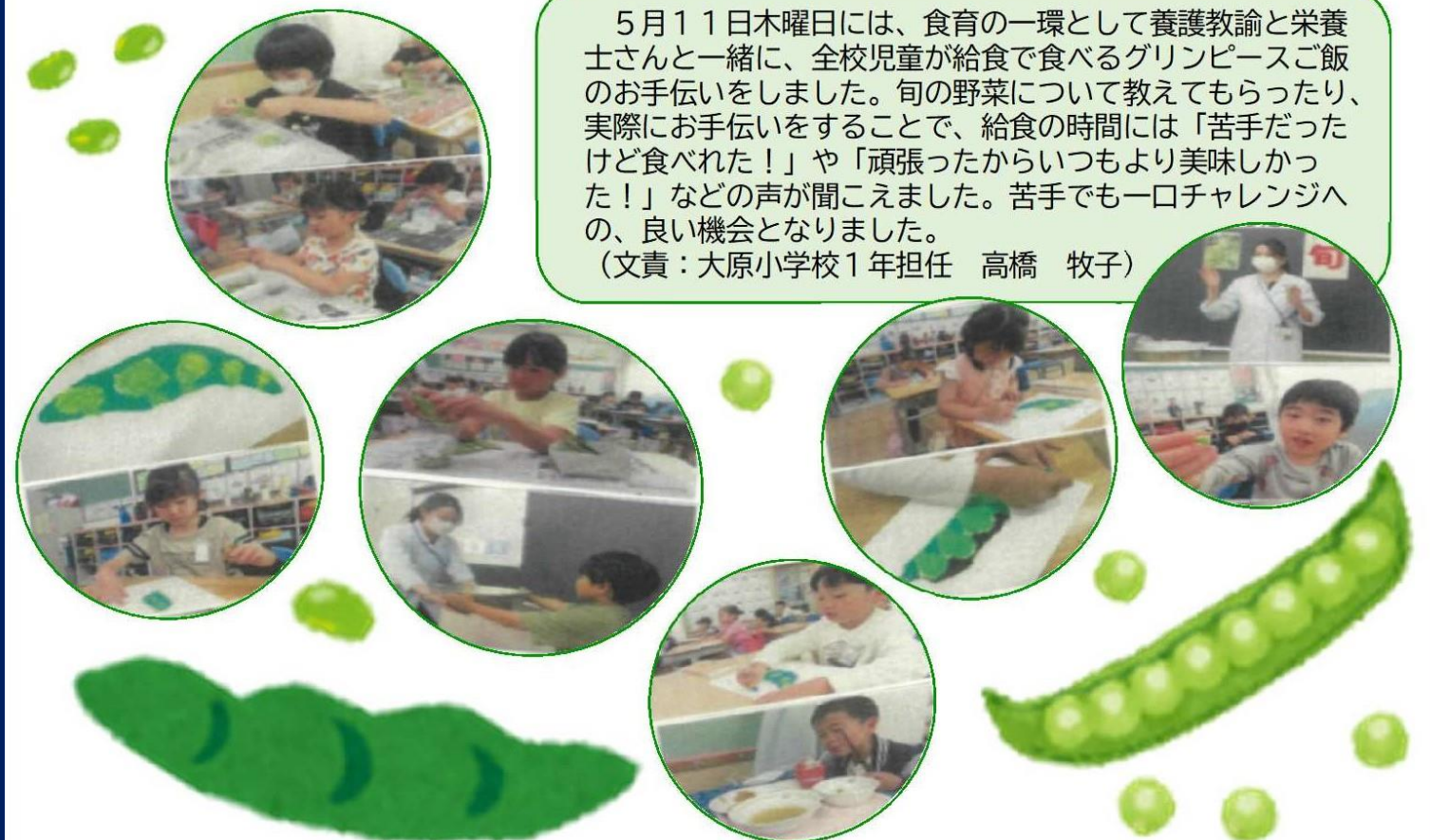
「チャレンジ精神」を忘れず、目の前にある大きな壁や小さな壁から逃げず、その壁を乗り越えて大きく成長して欲しいと願っています。

（文責：荏原第五中学校校長 夏井 真一）

大原小学校1年 グリンピースさやむき体験

5月11日木曜日には、食育の一環として養護教諭と栄養士さんと一緒に、全校児童が給食で食べるグリンピースご飯のお手伝いをしました。旬の野菜について教えてもらったり、実際にお手伝いすることで、給食の時間には「苦手だったけど食べれた！」や「頑張ったからいつもより美味しかった！」などの声が聞こえました。苦手でも一口チャレンジへの、良い機会となりました。

（文責：大原小学校1年担任 高橋 牧子）



☆卵

早瀬こえ シャケ故郷で 卵産む（悦）
あの時の 金の卵も 白髪増え（邦）

☆なかなかな

なかなかの 料理と思う 試食品（美）
週一の 禁酒なかなかな 遠い道（公）